



2026年1月15日

各 位

会 社 名 株式会社ムゲンエステート

代 表 者 名 代表取締役社長 藤田 進一

(コード番号：3299 東証スタンダード)

問 合 せ 先 経営企画部長 重松 雄貴

(TEL. 03-6665-0581)

環境方針策定に関するお知らせ

当社はこのたび、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを一層推進するため、「ムゲンエステートグループ環境方針」を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループは、「夢現 ―夢を現実に―」の社是のもと、不動産買取再販事業を中心に不動産開発事業、不動産特定共同事業、不動産賃貸事業など幅広い事業を展開しています。既存不動産の再生を中核とする事業特性を活かし、事業活動を通じて環境負荷の低減と社会課題の解決に貢献することが当社グループの重要な責務であると考えています。

今回策定した環境方針では、「環境と経済の両立」を基本的な考え方として位置づけ、気候変動への対応、資源循環の推進、地域と共生するまちづくりなどを重点テーマとして整理しました。今後は本方針をグループ全体の行動指針として、環境に配慮した取り組みを積極的に推進してまいります。

以 上

ムゲンエステートグループ 環境方針

ムゲンエステートグループ(以下「当社グループ」といいます。)は、「夢現 –夢を現実に–」の社是のもと、買取再販事業を中心に不動産開発・賃貸・工事など幅広い事業を展開し、事業活動を通じて、社会や地域にとって価値ある暮らしと環境の創出に取り組んでいます。当社グループは事業活動を通して資源の循環利用や環境負荷の低減に寄与するとともに、気候変動や資源の枯渇といった社会課題の解決にも貢献してまいります。

当社グループは環境への取り組みを中期経営計画をはじめとする経営戦略と一体の重要な経営課題と位置づけています。「不動産に新たな価値を創造し、すべての人の豊かな暮らしと夢に挑戦する」というミッションのもと、事業活動を通じて環境価値と経済価値の両立を図るとともに、持続可能な社会の実現に貢献いたします。

【1. コンプライアンス】

環境に関する法令・規制を遵守し、環境配慮の視点を持って事業活動を行います。

【2. 環境マネジメントの推進】

環境マネジメントを推進し、環境に配慮した取り組みを継続的に改善してまいります。

GHG 排出量やエネルギー使用量を定期的に把握・評価し、改善のサイクルを通じて削減を推進します。

また、環境目標および進捗状況を定期的にレビューの上、経営層への報告体制を整備します。

【3. 廃棄物の削減と資源の有効活用】

廃棄物の処理・再利用の推進を通じて、限られた資源の有効活用を図ります。

当社グループの中核事業である中古不動産再生事業を通して、既存建物の活用により新たな建材製造や廃棄物の発生を抑制し、資源循環型社会の実現に貢献します。

【4. 省エネルギーと環境性能の向上】

省エネ性能の高い設備や建材の導入を推進し、環境性能の向上に取り組めます。また、環境認証の取得を進め、GHG 排出量の削減と気候変動リスクへの対応を推進します。

中期的には 2030 年を目標とした温室効果ガス排出量削減に取り組み、長期的には 2050 年のカーボンニュートラル実現を見据えて、省エネルギーや再生可能エネルギーの導入拡大を通じた環境負荷の低減を継続的に推進します。

【5. 地域とともに歩むまちづくり】

空き家や老朽物件の再生を通じて、地域の景観・防災性・安全性向上に寄与し、安心して暮らせるまちづくりに貢献します。

地域の行政・団体と連携し、既存建物の再生を通じて地域の暮らしと安心できる環境づくりを進めます。

【6. ステークホルダーとの協働】

社内外のパートナーや地域社会と連携し、環境に関する意識向上に向けた教育・啓発活動を推進するとともに、環境情報の積極的な開示を通じて信頼関係の構築に努めます。

また、TCFD・CDP等の国際的枠組みに基づき、環境関連情報を透明性高く開示し、ステークホルダーとの信頼関係を深化させます。

当社グループは、環境と経済の両立を目指す企業として、不動産再生事業を通じて資源循環型社会の実現に貢献します。私たちは、事業成長と環境保全の調和を図りながら、持続可能な未来の創造に挑戦し続けてまいります。

本方針は、当社の取締役会承認を得て、代表取締役社長執行役員が署名します。

制定日 2026年1月15日

株式会社ムゲンエーステート

代表取締役 社長執行役員

藤田 進一